

船舶事故調査報告書

平成25年5月16日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	定置網損傷
発生日時	平成24年7月29日（日） 13時45分ごろ
発生場所	大阪府阪南市西鳥取漁港北西方沖 阪南市所在の大阪府西鳥取港中離岸堤南施設灯から真方位277° 350m付近 （概位 北緯34°21.5′ 東経135°13.5′）
事故調査の経過	平成24年10月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート さくら、1.48トン 250-55052大阪、個人所有 7.10m (Lr) × 1.90m × 0.50m、FRP ディーゼル機関、44kW、不詳（進水年月日）
乗組員等に関する情報	船長 男性 40歳 二級小型船舶操縦士 免許登録日 平成23年7月8日 免許証交付日 平成23年7月8日 （平成28年7月7日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	本船 なし 定置網 浮子網 ^{あぼづな} を切断、袋網に破損
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、兩人共に救命胴衣を着け、釣りをを行うために平成24年7月29日13時30分ごろ西鳥取漁港内の係留場所を出港し、船長が、船体後部に設けられた機関操縦台の後方に立って手動操舵に当たり、同漁港の防波堤を通過して左に変針したのち、左舷側に並んで設置された漁具（浮子）を、右舷側に色違いの浮子をそれぞれ認めたので、何かあると思いながらこの間を約10km/hの対地速力で西北西進していたところ、13時45分ごろ本船が突然停止した。 船長は、本船の周囲を見たところ、海面下に網が見えたので定置網に乗り入れたと思い、抜け出ようとして機関を始動し、前進としたものの、すぐに機関が停止したので、舵板に絡んだ網を取り除けば抜け

	<p>出ることができると思い、海に入って舵板を引き抜き、絡んでいた網を取り除いた。</p> <p>船長は、再び機関を始動して前進としたが、すぐに機関が停止したので、網がプロペラにも絡んでいることが分かり、自力航行を諦めて岸和田海上保安署に通報し、救助を依頼した。</p> <p>定置網の所有者は、西鳥取漁港で出港準備を行っていたとき、知人から定置網の付近で船が止まっていると知らされ、本船と定置網の状況を確認するために13時50分ごろ漁港を出発した。</p> <p>定置網の所有者は、本事故当日に潜水作業員の手配ができなかったので、本船が流されないように本船の錨を入れ、浮子を取り付けられた網（化学繊維製、直径約18mm。以下「浮子網」という。）と本船とをロープで結び、船長及び同乗者を西鳥取漁港へ連れて帰った。</p> <p>本船は、本事故の翌日、定置網の所有者が手配した潜水作業員によって袋網を切断し、プロペラに絡んだ袋網及び浮子網が取り除かれ、船長が操船して西鳥取漁港に帰港した。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西、風速 約2～3m/s、視界 良好</p> <p>海象：波高 約0.5m、潮汐 上げ潮の中央期、潮流 南流約0.5ノット</p>
その他の事項	<p>本船の喫水は、船首約0.5m、船尾約0.5mであった。</p> <p>船長は、本船への乗船が本事故当日で4～5回目であり、いずれも本事故発生場所付近を航行したものであったが、西鳥取漁港北西方沖に浮子が浮いていることは知っていたものの、浮子が定置網に取り付けられているものであることを知らなかった。</p> <p>定置網は、毎年5月～12月末にかけて西鳥取漁港の北西方沖に1基設置されており、袋網が北東端及び南西端に設置され、それぞれの沖側及び定置網中央部の北西方沖には旗（標識）が設置されていた。</p>
分析	<p>乗組員等の関与 あり</p> <p>船体・機関等の関与 なし</p> <p>気象・海象の関与 なし</p> <p>判明した事項の解析</p> <p>本船は、西鳥取漁港北西方沖を西北西進中、船長が、左右に浮子が設置されていることを認めたものの、浮子が定置網に取り付けられたものであることを知らなかったことから、左右の浮子の間を航行し、定置網に進入して同網を損傷したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、西鳥取漁港北西方を西北西進中、船長が、左右に浮子が設置されていたことを認めたものの、浮子が定置網に取り付けられたものであることを知らなかったため、左右の浮子の間を航行し、定置網に進入したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p>

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・事前に航行予定海域の漁具の設置情報等を入手しておくこと。・浮子などの漁具からできる限り離れて航行すること。 |
|--|---|